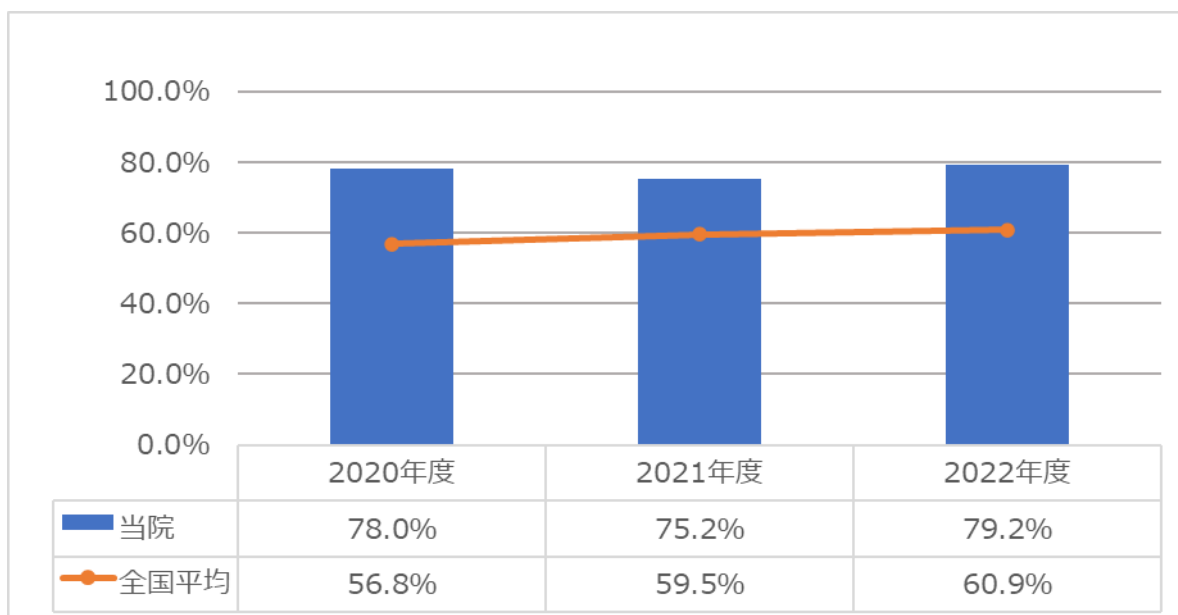


指標 8 急性または慢性心不全患者に対する心臓リハビリ実施割合



<定義>

分子	:	分母のうち、心臓リハビリが実施された症例数
分母	:	急性または慢性心不全で入院した症例数
期間	:	2020年度～2022年度（1年毎に集計）
対象	:	上記期間の退院患者
値の解釈	:	高い方が望ましい

<解説>

運動療法を中心とした心臓リハビリテーションは急性または慢性心不全の二次予防に有効です。生命予後の改善効果も認められています。当院での心臓リハビリテーションの施行率は79.2%と全国平均の60.9%と比較して高い施行率を達成しています。

※ 本データは厚生労働省提出用のDPCデータを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院QIP事業】」における「医療の質の指標」の計測結果（事業に参加する全国の病院の平均値）を用いています。

【参考 URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>（当院のQIP参加について）

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/acts.html>（QIPにおける計測結果）